

2020年10月吉日

弦泳会員の皆様

弦泳会 会長 北村 公一
水上競技部 部長 岡田 太志
水上競技部 監督 内藤 俊夫

コロナ禍における現役生の活動報告と弦泳会費の自動振替ご協力のお願い

拝啓 初秋の候、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

今般の新型コロナウイルス感染症は世界中の人々に恐怖と経済的苦痛を与えました。皆様の中にも、ご本人もしくはご家族、ご友人が感染された方、お亡くなりになられた方もいらっしゃるかと存じます。また、経済的に打撃を受けた方もいらっしゃるかと存じます。心からお見舞い、お悔やみを申し上げます。

そんな厳しい状況下でも、弦泳会並びに現役の活動にご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

コロナ禍における現役生の活動について

コロナウイルスによって現役生は大きな打撃を受けました。4月初旬にキャンパスが全面閉鎖となり、大学の温水プールが約4カ月間、利用できませんでした。この間、クラブ活動は事実上停止し、部員たちは自力で練習場所を探すことを余儀なくされました。

中には地元のスイミングスクールや母校の先生方（OB・OG含む）のご理解とご尽力により、練習を積めた者もありますが、大半は市民プールでの週1～2回のスイム練習あるいは自宅での陸上トレーニングのみに制限されました。

試合についても、関西学生選手権や関西学生水球リーグ戦をはじめほとんどの大会が中止となりました。関西学生選手権の中止は第二次世界大戦以来のことです。辛うじて日本学生選手権は開催されましたが、出場選手数が前年の4割ほどに絞られたことから、本来であれば出場できたはずの選手が機会を失いました。

目標としていた大会がなくなり、自暴自棄に陥っても不思議ではない状況でしたが、4年生がクラブをよくまとめ、この難局を乗り越えてくれました。Zoomを用いた毎週土曜日の合同陸トレや定期的な全体ミーティングの実施は、早期の復活を予感させてくれる立派な試みであったと思います。

既に秋学期が始まり、競泳、水球とも新幹部体制で活動を再開しています。温水プールの利用は可能となりましたが、一度に利用できる人数は14名以内に限られており、毎日の検温をはじめプール内の換気や除菌・消毒の徹底など、引き続き厳しい条件が課せられています。

それでも部員たちは水泳・水球ができる喜びと感謝の念を表明してくれています。来年はきっと平常を取り戻している。そう信じて日々の練習に取り組んでくれています。

現役生の経済的負担について

コロナ禍はアルバイトをしながらクラブの活動費を賄っていた部員に絶望を与えました。小売業の厳しさは西宮も例外ではなく、多くの店舗が閉店あるいは規模の縮小に追い込まれました。部員たちのアルバイト先も同様であり、多くが働く場所を失いました。

大学の緊急支援奨学金を受給し急場を凌いだ者もありますが、クラブ活動が続けるには部員一人あたり年間 15～20 万円ほどが必要です。活動に必要な金額はこの 30 年、ほとんど変わっていません。

現在、OB・OGの皆様から弦泳会費及び寄付金として年間 100～120 万円ほどのご支援をいただいております。また、大学から 60～90 万円ほどの援助金を受けております。両者を合わせて 200 万円ほどになりますが、部員数が競泳・水球合わせて 70 名を超えるため、一人当たり換算だと 3 万円弱となります。なかなか厳しい状況です。

OB・OGの皆様から頂戴した援助金の使途ですが、iPad やストップウォッチ、各種陸上トレーニング機器、水球のボールや専用キャップ等の購入をはじめ日本選手権や日本学生選手権等の遠征費の一部補助に充当しております。

現役生からは部費として選手は年額 3 万円、マネジャーは年額 2 万円を徴収しています。その他、合宿や各種大会の遠征費、各大会の参加費、水着やウェアの購入費はほぼ全額を自己負担してもらっています。

部員全員に満足のいく援助を施すことは困難であることは承知しています。ただ、日本選手権に出場するような「新月」を背負った部員には、遠征費は全額援助したいと考えています。ゆくゆくは水上競技部から日の丸を背負う部員も出てくることでしょう。世界となれば、活動に必要な費用は高額にのぼることが予想されます。その際に十分な支援をすることで、「関学に来てよかった」と感謝してもらえるような支援体制を整えていきたいと願っています。

弦泳会費（年 10,000 円）の自動振替ご協力のお願い

繰り返しご案内とお願いを申し上げますが、弦泳会費を確実に集めて現役生の活動を支援するため、2010 年度より「NSS 口座振替システム」を利用した、弦泳会費の自動振替を実施しております。本日時点で 102 名の方にご登録いただいておりますが、まだ全体の 20%にも達していません。アメリカンフットボール部やラグビー部は 80%を超える納入率となっていますので、まだご登録されていない方は是非ご協力をお願いいたします。

いま一度、口座振替の仕組みについてご説明いたします。

①ご登録口座からの引き落とし（引落日は 11 月 8 日）

⇒いったん弦泳会の口座に入金されます。

②弦泳会が取りまとめて、学校法人関西学院に寄付（毎年 12 月）

⇒「**関西学院大学スポーツ活動支援募金**」を通じた水上競技部への指定寄付となります。弦泳会は寄付者名簿を関西学院に提出します。

③関西学院は②の名簿を元に領収書を郵送。あわせて水上競技部の寄付金残高を管理する。

④現役生がこの募金を使いたいときは、「申請書」と実際に支払った「領収書」を大学のスポーツ振興・統括課に提出する。同課での審査後、水上競技部の口座へ振り込まれる。

【口座振替のメリット】

・学校法人関西学院への指定寄付となるため、関西学院から送付される領収書を添付し確定申告することで寄付額の約4割が還付されます。詳しくは学院ホームページ

https://www.kwansei.ac.jp/giving/giving_018431.html をご覧ください。

・寄付者には学校法人関西学院からカレンダーをお届けします。

※住所不明の場合、関西学院からの領収書が不着となります。確定申告にはこの領収書が必要となりますので、住所が変わられた方は弦泳会事務局もしくは現役生までご連絡ください。

【口座振替のお申し込み方法】

☆インターネット口座振替サービスがスタートしました。

1. 下記のQRコードより、日本システム収納（株）のサイトにアクセスし、名前とメールアドレスを入力してください。※弦泳会団体コード「0939227」
2. 入力いただいたメールアドレスに「インターネット口座振替受付サービス」のログイン先アドレスとお申込みコードのメールをお送りしますので、ログインしてください。
3. 以降は、画面に表示される案内に従って手続きしてください。

URL	https://www.nss-jp2.com/page_ex.jsp?CONTROLID=KTS0960&BUSINESSID=initDisp&DISPLAY_KEY_param=2jmehZXZs16rZX ※上記は日本システム収納株式会社のURLです。 ※処理可能な時間帯は8：00～24：00です。 ※スマートフォン以外の携帯電話からは手続きいただけませんのでご注意ください。 
-----	--

- ① 弦泳会の会計年度は10月1日～9月30日です。

2020年度の会費は、届き次第随時（11月9日、もしくは12月8日）口座引き落としさせていただきます。

※来年度以降は、毎年11月8日に口座引き落としさせていただきます

以上